

ひびき

hibiki

取手市議会だより第196号
平成24年3月1日発行

<紙面から>

去る2月15日、16日に、改選後初めての臨時会を開催しました。この臨時会では正副議長の選挙を行い、議長選挙は投票の結果、倉持光男16票、加増充子4票、佐藤清4票により、倉持光男議員が議長に就任しました。また、副議長選挙は投票の結果、齋藤久代14票、結城繁8票、遠山智恵子4票により、齋藤久代議員が副議長に就任しました。その他、常任委員会委員の選任、一部事務組合等議会議員の選挙、名誉市民選定の同意などを行いました。それでは、新しい議員の氏名や今後の抱負などをご紹介します。

発行責任者／取手市議会議長 倉持光男
発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
ファクス 0297-74-1990
ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp

私たちが皆さまのご意見を市政に反映させます。

～新しい取手市議会のメンバーが決まりました～



新議長
倉持光男 (62歳)
みつお



創世クラブ
中内 209
82-2685

私は4年前、議会改革調査特別委員長を引き受けてほしいという要請を受けて、議会改革に取り組みました。しかし、取手市議会を全国に誇れる議会とするために、一層の見

新副議長

齋藤久代 (55歳)
さいとう ひさよ



公明党
新町 6-10-14
74-4838

取手市議会では、ことし1月1日に議会基本条例が施行され、これに基づいて本格的な議会改革がスタートすると認識しております。市民の皆様は、議会基本

直しをしていかなければならないと思います。委員会のインターネット配信や、議場のIT化でさらに開かれた議会にしたい。議会主催の勉強会を行い、市民に安心を与えられる議会にしたい。そういう思いで議会運営をしていきます。

また、デフレ経済下での自治体運営のあり方として「市民と自治体の共生社会」の実現が最重要課題だと考えます。自治体運営を市長任せにせず、市長に堂々と議会の意見を言う。

取手市議会議長の職に恥じない仕事を精いっぱいいたします。

条例ができたことを高く評価をしてくださっています。一方、本当に改革が行われるかどうか注目されています。議員がより質の高い議論を行える議会、また市民にとってより分かりやすい議会とするために、条例に沿った議会改革を一つ一つ丁寧に推し進めたいと考えております。

また、これまでの経験を生かし、皆様のご意見を伺いながら、公正公平でスムーズな議会運営を行いたいと考えております。倉持議長のもと、副議長として頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

いちむら たつあき (35歳)



みんなの会
新川 237-1
84-6985

生まれ育った取手にかつての活気と元気を！若者に夢と希望を！「取手のことは取手で決める」「国がやらないなら取手から始めちゃおう」が、みんなの党の地域主権のアジェンダです。

いけだ めぐみ (51歳)



生活者ネットワーク
桜が丘 4-28-2
090-9366-8712

「市民参加のまちづくり」を進めたいと訴えて初当選致しました。情報を公開し、ここに暮らす市民とともに知恵を絞り、取手の未来をいっ緒に創って参ります。是非、自分の一票がどのように活かされているか、議会を傍聴し、ご意見等をお寄せ下さい。

わたなべ ひでお (67歳)



はやぶさ
西 2-6-9
74-7136

このたびの市議会議員選挙で初当選いたしました。民間企業での40年間のサラリーマン生活の経験を生かし市政、行政に対する市民の皆様の声に素直に耳を傾け市政に反映させてまいります。また高齢者や子どもが安全に安心して暮らせる街を目指します。

いし いめぐみ (32歳)



創世クラブ
片町 244
82-6055

少子高齢化や防災対策、駅周辺の整備に向けた様々な問題に取り組み福祉の充実を目指してまいります。お子様からお年寄りまでが安心して住みよい街づくりそして今の子ども達が10年後、20年後住んでいて良かったと思える街づくりに取り組んでまいります。

かわまた さだお (72歳)



創世クラブ
白山 2-2-1-405
72-8567

皆様と市政のかけ橋として、皆様のお声、ご要望を市政へ届けるために頑張つて活動します。取手市に住んで良かったと言える街にするため、皆様と一緒に一生涯懸命やり抜きます。市政に関する皆様のご意見を遠慮なくお寄せ下さい。

やまのい たかし (37歳)



創世クラブ
井野台 1-11-36-502
74-8757

安心安全な街づくりと街の活性化を主なテーマに4年間しっかりと取り組んでまいります。東日本大震災に学び、公共施設の耐震化や放射能の除染は最優先課題と考えています。また中心市街地はもとより市全体の活性化を市民の皆さんと一緒に考え、即行動に移します。

おちあ いしんたろう (45歳)



公明党
戸頭 6-6-13-A202
79-1875

急速な少子・高齢化の波は、この街にも押し寄せ、市の魅力がうせつつあります。今こそ徹して皆さまのお声を聞き、子育て世代や高齢者の方々が希望を持って暮らせる市に蘇らせて参ります。現役の子育て世代・高齢者の介護をしている代表として、全力で頑張ります。

せきど いさむ (67歳)



日本共産党
戸頭 7-7-17-103
78-0500

「取手にいても大丈夫でしようか」。お母さんの不安に、子どもの命を守る万全の放射能対策と原発の廃止を国や県に求めます。増税やTPPなど財界やアメリカ言いなりの政治を正し、暮らしや福祉、防災など、市民の願いに込める市政となるよう努めます。

すずき きよし (68歳)



日本共産党
台宿 1-1-23
74-8160

取手の放射能汚染は何とんでもなく急ぐ、子どもの健康調査も急ぐ、このこと抜きに取手の将来は語れません。国と東京電力に賠償させる見通しを持って必要な手だてを市が率先して行うことが重要です。安心安全住みよい取手をめざし全力を尽くします。

いしじま ゆうすけ (33歳)



取手@考会
下萱場 165
090-8568-6939

昨年の市議会議員補欠選挙に続き、皆さまからのご信任を賜わり、取手市において議員を務めさせていただきます。この街の豊かな営みが続き、住むことに誇りが持てるように、全力で任務を全うして参りますので、ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

かなざわ かつひと (36歳)



はやぶさ
東 6-66-32
74-7333

今回2回目の当選をさせていただきました。今までは会派「未来」で活動してきましたが、この度、新たな会派「はやぶさ」を立ち上げました。今までの以上に市民生活向上のために、是非々の立場から行政のチェック機能として働きたいと思えます。

こじま よしひろ (51歳)



創世クラブ
小文間 4397-1
70-1139

今期4年間の主な課題は①取手駅前にも多目的ホールの建設を推進して活性化を図り②高齢者の生きがいづくりにつなげ③子供達の教育環境を充実させることです。今後も自らの思想と活動を明確にして信念を語り、常に市民目線で物事を捉えて行政や議会に反映させます。

染谷 和博 (51歳)



公明党 新町 4-10-24
会派電話 72-8396

取手市は人口の減少、超高齢化、中心市街地空洞化など様々な課題があります。地域を再生し魅力ある輝きを取り戻すため自助、共助、公助の実現で「支え合う社会」を築いていかなくてはなりません。
安心・安全で住みよい取手にするため全力を尽くしてまいります。

入江 洋一 (53歳)



創世クラブ 新取手 3-42-13
会派電話 74-8429

「やさしさが息づく...。暮らしてみたいあこがれの街ととりで」ふるさと取手を愛する気持ちに限りはありません。市民の皆さま一人一人の声を活かし誰もが住んで良かったと言えるような「ベストタウンととりで」を目指し全力投球で頑張つてまいります。

中村 修 (50歳)



はやぶさ 東 5-8-20
会派電話 74-2788

議員としての役割、責任をしっかりと果たし、山積している課題に積極的に取り組み、大変な時代を生き抜かれた先人の教えを大切にし、次世代を担う子供たちに心の豊かさを実感できる、住み続けるほど好きになる街を創るために、市民の皆様と共に汗を流します。

結城 繁 (54歳)



志正会 新町 1-5-28
会派電話 72-0100

3期目に当たり、これまでの経験と実績をいかして民間感覚をもって選挙公約を実行していきたいと考えています。まずは駅前再生です。このエリアから取手市全体のイメージアップを図りたいと思います。また地方分権の時代です。さらなる議会改革に取り組んでいきます。

佐藤 清 (72歳)



はやぶさ 白山 5-3-10
会派電話 74-2306

私は、30年にわたる行政経験を活かして、取手市が抱えている行政課題を幅広く、長期的な視点でとらえ、今、本当に必要なこと、実行しなければならぬことを議会に提案、率先して行動、実行します。

遠山 智恵子 (58歳)



日本共産党 藤代 144-6
会派電話 83-8290

「市民が主人公」をモットーに、引き続き地域要求実現に取り組みます。住民福祉増進を本旨とする地方自治体としての税金の使い方・行政のあり方をただし、取手市議会基本条例スタートにふさわしい活発で市民に開かれた議会・議員活動にがんばる決意です。

吉田 宏 (54歳)



創世クラブ 東 1-2-11
会派電話 72-3275

絆を大切に安心して安全に住める災害に強い、子供達が元気に成長でき安全に学べる教育環境、高齢の方々が元気で安心して暮らせる地域のコミュニティの強化、みんなにやさしくわかりやすい市政等に取り組んで住みやすい街「取手」を目指し邁進してまいります。

佐藤 隆治 (40歳)



創世クラブ 谷中 69-2
会派電話 83-2324

4人に1人の高齢世代には健康で生きがいのある暮らしを、青・壮年世代には安心できる暮らしを、子育てできる環境を整え「支えあい、人に優しい街」を実現させることが私の政治使命であるとの熱い思いで、これからも責任ある行動をして参ります。

阿部 洋子 (53歳)



公明党 宮和田 433-4
会派電話 82-3488

東日本大震災より1年。取手市民は放射能に対する不安を抱え暮らしております。1日も早い復興、赤ちゃんから高齢者、そして障がいのある無に問わずすべての人の笑顔あふれる暮らしのために、全力で働いて参ります。

平 由子 (65歳)



民主党 戸頭 9-13-20-5
会派電話 78-7458

原発技術可能だからしてよいわけではない。技術の帰結が永遠の負担を持ちうる場合、批判が特に重要。短期的利益を優先した決定は未来世代に負担を残す。選択肢はないという主張は未決定問題を論じる議会制民主主義への信頼を危うくする。―「ドイツ倫理委員会」

赤羽 直一 (64歳)



はやぶさ 山王 200
会派電話 85-8311

取手市は税収が落ち込む中、色々な問題を抱えています。放射能の除染、汚染された土などの保管、取手駅西口の開発、東急ビルの再開、藤代駅北口の整備など、どれも市民の皆様の生活に直結した事柄です。市民の皆様の声が市政に反映されるよう努力致します。

加増 充子 (59歳)



日本共産党 井野 3-18-5
会派電話 74-8154

市民の暮らしと地域経済を大切にしてこそ、元気で魅力のある取手市をつくる事ができると思います。原発事故以来の最優先課題「放射能汚染から子どもと市民を守る対策」と同時に、国保税を引き下げ、市民の健康を守り、安全安心の災害に強い街をめざします。

